

平成 25 年 9 月 吉日

各 位

富山県工業技術センター
所 長 榎本 祐嗣

平成 25 年度ものづくりバトンゾーン研究会「EMC・システム研究会」
「機械安全セミナー」「設計システム研究会」のご案内

時下、貴社にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

近年、グローバル市場に製品を供給するメーカーは、機械設計者がリスクアセスメントを実施し、その結果に基づきリスク低減を行い、それでも残留するリスクを使用者に伝達するという「リスクベースド・アプローチ」の考えに基づき機械システムを設計することが必須となっています。

そこで、機械設計者及び機械使用者の実務担当者を対象に、国際機械安全に基づく機械の安全設計の進め方、制御システムの設計方法に関する国際規格 ISO13849-1 の概要について紹介する本セミナーを開催いたします。また、今回は、ISO13849-1 の規格が要求する安全制御システムのパフォーマンスレベル(PL)の評価計算ソフトである SISTEMA を使用した計算演習も実施することとしております。

本セミナーは、昨年度に引き続き、機械・電気・システム系の安全に関する国際基準を推進している NPO 安全工学研究所 (<http://www.safetylabo.com/>) と共催で開催いたします。

ご多用の折とは存じますが、是非ご参加いただきますようお願いいたします。

記

- 1 開催日時 平成 25 年 9 月 20 日(金) 13:30~17:00
- 2 開催場所 富山技術交流センター 2F 大研修室 (富山市高田 5 2 9)
- 3 内容

国際安全規格に基づく機械安全のすすめ方

(止まる安全と止まらない安全→人と機械の協働)

NPO 安全工学研究所 代表理事 加部 隆史 氏

機械安全では、機械設計者がリスクアセスメントを実施し、その結果に基づき適切なリスク低減を行い、それでも残留するリスクを機械使用者に伝達するといったリスクベースド・アプローチが体系化されており、グローバル市場に製品を供給する機械メーカーはこの考えに基づいて機械システムを設計することは必須の課題となっています。しかし隔離と停止の原則に基づく機械安全を推進すると、機械の生産性と安全の両立が課題となります。

本セミナーでは、国際規格に基づく機械安全の原理原則と、機械安全の課題である機械の生産性と安全の両立を解決する一つの手法として、安全な速度・位置の監視による人と機械の協働について説明します。

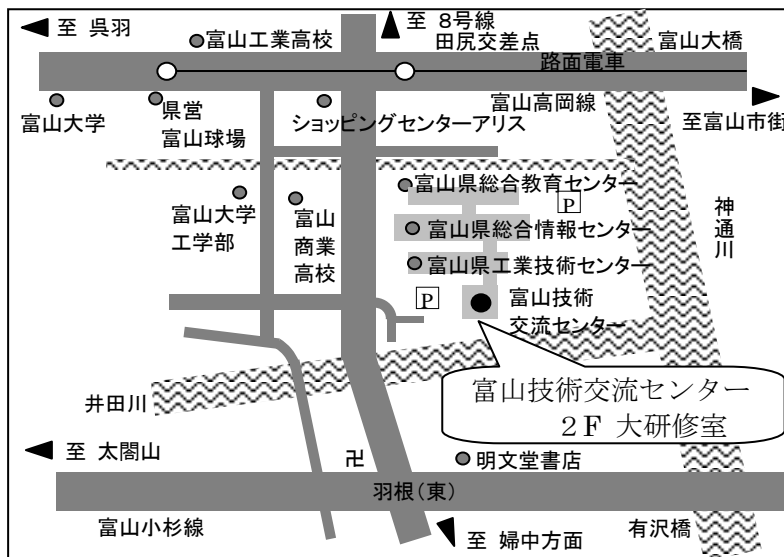
制御安全の概要と実務 (ISO13849-1:2006)

ISO13849-1 に適合した制御システムの安全関連部の設計手法

NPO 安全工学研究所 研究員 白井 安彦 氏

2012年1月1日より、欧州機械指令 (2006/42/EC) の制御安全に関する整合規格が ISO13849 に改訂となったことで、工作機械や産業用ロボットなど機械の個別安全規格の安全要求事項も ISO13849 に基づく変更が行われています。本セミナーでは、制御システムの安全関連部の設計方法に関する国際規格 ISO13849-1 の概要と設計のポイント及びフリーソフト SISTEMA を使用した PL (パフォーマンスレベル) 計算演習を PC を用いて行います。

- 4 対象者 企業の技術者・研究者（特に機械メーカーの開発者・設計者、工場の生産技術者）
 昨年度、受講されていない方でも、概要からご講演いただきますのでお気軽にご参加ください。また、今回は、昨年の内容を踏まえ詳細についても解説し、PL 評価計算ソフトによる演習も実施しますますので、昨年度ご参加された方も是非ご参加ください。
- 5 参加費 無料
- 6 問合せ先 富山県工業技術センター 機械電子研究所 担当：上野・金森
 Tel.076-433-5466 Fax.076-433-5472 E-mail: ueno@itc.pref.toyama.jp



「機械安全セミナー」「設計システム研究会」参加申込書

送信先 FAX:076-433-5472 担当:上野

会社名 _____

住所 〒 _____

連絡先 TEL () _____ FAX () _____

所属・役職	氏名	メールアドレス	
		<input type="checkbox"/> 個人情報を提供しない	<input type="checkbox"/> メルマガ登録しない
		<input type="checkbox"/> 個人情報を提供しない	<input type="checkbox"/> メルマガ登録しない

●質問事項（説明してほしい内容等がありましたらご記入下さい）

受講を希望の方は、平成25年9月13日(金)までに上記に記入のうえ申込書(本書)をそのままFAXいただくか、必要事項をE-mailにて申し込みを願います。

備考

- 本申込書に記載された個人情報は、受講者の確認や、やむを得ない事情により、日時、会場の変更があった場合にその連絡を行うために提出していただくものです。
- 本申込書に記載された個人情報を、参加者名簿（会社名・所属・氏名のみ）の形で講師に提供する予定です。提供することに同意されない場合は、□欄にチェックを入れてください。
- ものづくり研究開発センターのメールマガジンのリストに登録を希望しない場合は、□欄にチェックを入れてください。